



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役会長 (氏名) 八代 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,689	△7.0	206	△7.6	224	△14.8	60	△47.8
29年3月期第1四半期	3,966	△6.0	222	1.4	262	33.2	115	53.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 166百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △68百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.81	—
29年3月期第1四半期	3.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	14,417	7,436	47.0
29年3月期	14,870	7,473	45.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 6,775百万円 29年3月期 6,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成30年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	7,000	△8.2	330	△17.7	330	△21.5	80	△57.1	23.55
通期	14,700	△7.1	1,030	△10.3	1,030	△11.3	500	△30.2	147.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	36,142,529株	29年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,772,357株	29年3月期	2,771,158株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	33,370,827株	29年3月期1Q	34,059,636株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び連結業績予想について）

当社は、平成29年6月29日開催の第97回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の連結業績予想は以下のとおりとなります。

平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 第2四半期（累計） 2円36銭 通期 14円72銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、北朝鮮・中東が我が国に与える影響や、米国や欧州の政治・経済動向に不透明感が残るものの、緩やかな回復基調が続きました。

染色加工業界におきましては、国内では、消費者の根強い節約志向により、店頭衣料品販売量が落ち込んでおり、厳しい受注環境が続いております。海外では、当社の進出先であります東南アジア地域において、タイでは、個人消費は持ち直し傾向が見られますが、未だ本格的な回復には至っておりません。一方、インドネシアでは、順調な景気拡大が続いており、今後も人口増加や中間所得層の拡大に伴い、衣料分野や生活関連分野などでの需要増加が見込まれております。

このような状況のもと、当社グループは、国内では、染色加工事業で安定的な売上が確保できる非衣料分野の受注強化を進め、海外では、インドネシア・タイの既存客先との取組強化に加え、ミャンマー国内市場向けに販路拡大を計画しており、積極的な事業展開を推進し、更に非衣料化に伴う加工料単価の低下に対応するため、各生産拠点にて原価低減活動の強化に取り組みました。また成長事業である保育サービス事業の拡大及び洗濯事業の開始など、非繊維事業の拡大に向け注力し、継続的な利益確保に向けた基盤作りを進めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、保育サービス事業が増収となりましたが、縫製品事業では、採算重視の販売方針への変更を積極的に進めたことにより、3,689百万円（前年同期比7.0%減、276百万円減）となりました。利益面では、縫製品事業が黒字転換を図り、保育サービス事業においても収益の増加を図ったものの、主力の染色加工事業及び機械販売等その他事業の収益減少の影響もあり、営業利益206百万円（前年同期比7.6%減、16百万円減）、経常利益224百万円（前年同期比14.8%減、38百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円（前年同期比47.8%減、55百万円減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①染色加工事業

染色加工事業は、売上高は2,857百万円（前年同期比1.1%減、31百万円減）となり、営業利益は174百万円（前年同期比9.8%減、18百万円減）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

（加工料部門）

国内では、織物では、非衣料分野の受注に積極的に取り組んだ成果もあり、ユニフォームを中心に加工売上を堅調に伸ばしましたが、編物では、カジュアル婦人衣料の販売不振による影響を受け、加工売上が減収となりました。一方、海外では、タイ子会社が、合理化効果により、黒字を確保しており、インドネシア子会社は、需要旺盛な国内市場向け受注を積極的に取り込み、売上数量を順調に伸ばしたことで増収となりました。しかしながら、国内の落込みをカバーするには至らず、加工料部門の売上高は2,264百万円（前年同期比3.0%減、68百万円減）となりました。

（テキスタイル販売部門）

国内は既存顧客との取り組み強化や新規顧客の開拓を進め、ユニフォームや資材用途向けの販売強化に努めた結果、増収となりました。一方、海外では、インドネシア子会社において、旺盛なローカル市場向け需要を取り込むため、委託加工での受注拡大を積極的に進めたことで、輸出を中心としたテキスタイル販売は微減収となったものの、双方合わせたテキスタイル販売部門の売上高は593百万円（前年同期比6.8%増、37百万円増）と増収となりました。

②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、インドネシア一貫生産体制による製品販売に注力すると共に、売上重視から収益重視の販売へ全面的に転換を図り、不採算の取引を全て見直したことにより、売上高は261百万円（前年同期比57.6%減、355百万円減）の減収となりましたが、上記試みと輸入管理に伴う物流コスト圧縮効果により、営業利益7百万円（前年同期は営業損失1百万円）となり、黒字化を達成しております。

③保育サービス事業

保育サービス事業は、企業や病院等の企業内託児所を順調に拡大し売上高554百万円（前年同期比15.5%増、74百万円増）と増収になりました。また当事業は、人材の安定確保を図るために保育士の待遇改善と採用活動を積極的に行っており、コストは増加しておりますが、業務の効率化により収益性が改善し、営業利益10百万円（前年同期比517.9%増、8百万円増）と増益となりました。

④倉庫事業

倉庫事業は、国内染色加工事業における商量減少に伴い、荷取量が落ち込んだことで売上高61百万円（前年同期比7.0%減、4百万円減）と減収となりましたが、経費圧縮に努め、営業利益1百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、不動産賃貸事業等に加え、当期注力する洗濯事業が含まれており、前期は機械販売事業にてスポットでの機械販売があったことから、売上高は47百万円（前年同期比26.9%減、17百万円減）、営業利益は13百万円（前年同期比56.2%減、16百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、14,417百万円（前連結会計年度末比3.0%減、452百万円減）となりました。これは主に現金及び預金の減少415百万円、受取手形及び売掛金の減少288百万円、投資有価証券の増加130百万円等によるものです。

負債は、6,981百万円（前連結会計年度末比5.6%減、415百万円減）となりました。これは主に短期借入金の減少73百万円、支払手形及び買掛金の減少120百万円、賞与引当金の減少126百万円、長期借入金の減少117百万円等によるものです。

純資産は、7,436百万円（前連結会計年度末比0.5%減、37百万円減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益による増加60百万円、配当金の支払いによる減少150百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加90百万円、為替換算調整勘定の減少27百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては、平成29年5月10日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,028,081	1,612,394
受取手形及び売掛金	3,703,012	3,414,385
商品及び製品	147,339	135,283
仕掛品	339,102	352,832
原材料及び貯蔵品	377,522	378,597
繰延税金資産	79,160	33,918
その他	160,882	208,599
貸倒引当金	△82,626	△81,908
流動資産合計	6,752,476	6,054,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,336,508	1,331,406
機械装置及び運搬具（純額）	1,781,297	1,883,072
土地	1,790,244	1,789,387
建設仮勘定	218,004	255,709
その他（純額）	328,406	308,947
有形固定資産合計	5,454,462	5,568,522
無形固定資産		
その他	43,007	50,322
無形固定資産合計	43,007	50,322
投資その他の資産		
投資有価証券	2,175,905	2,306,225
繰延税金資産	31,690	30,319
その他	417,728	413,238
貸倒引当金	△5,144	△5,144
投資その他の資産合計	2,620,180	2,744,639
固定資産合計	8,117,649	8,363,484
資産合計	14,870,126	14,417,587

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,822,675	1,702,160
短期借入金	1,210,573	1,137,532
未払法人税等	91,998	61,848
賞与引当金	178,300	51,975
その他	1,189,109	1,258,690
流動負債合計	4,492,656	4,212,207
固定負債		
長期借入金	902,500	785,000
役員退職慰労引当金	17,032	17,981
退職給付に係る負債	1,213,851	1,174,983
資産除去債務	41,068	41,301
その他	729,868	750,082
固定負債合計	2,904,321	2,769,349
負債合計	7,396,978	6,981,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,949,458	1,859,747
自己株式	△495,008	△495,169
株主資本合計	7,154,570	7,064,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554,974	645,416
為替換算調整勘定	△805,838	△832,862
退職給付に係る調整累計額	△108,541	△101,468
その他の包括利益累計額合計	△359,405	△288,915
非支配株主持分	677,983	660,248
純資産合計	7,473,148	7,436,031
負債純資産合計	14,870,126	14,417,587

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）
売上高	3,966,720	3,689,832
売上原価	3,301,368	3,060,587
売上総利益	665,352	629,245
販売費及び一般管理費	442,473	423,204
営業利益	222,878	206,040
営業外収益		
受取利息	705	873
受取配当金	28,487	24,429
受取保険金	28,620	—
雑収入	3,313	5,629
営業外収益合計	61,127	30,931
営業外費用		
支払利息	6,829	4,415
為替差損	4,074	2,820
雑支出	10,187	5,709
営業外費用合計	21,092	12,945
経常利益	262,913	224,027
特別利益		
国庫補助金	36,557	—
特別利益合計	36,557	—
特別損失		
固定資産圧縮損	36,557	—
特別損失合計	36,557	—
税金等調整前四半期純利益	262,913	224,027
法人税、住民税及び事業税	52,677	54,809
法人税等調整額	34,152	52,375
法人税等合計	86,830	107,184
四半期純利益	176,083	116,842
非支配株主に帰属する四半期純利益	60,155	56,382
親会社株主に帰属する四半期純利益	115,927	60,459

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	176,083	116,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193,420	90,442
為替換算調整勘定	△58,533	△48,829
退職給付に係る調整額	7,670	7,931
その他の包括利益合計	△244,283	49,544
四半期包括利益	△68,200	166,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△104,913	146,646
非支配株主に係る四半期包括利益	36,713	19,740

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,888,225	542,713	479,817	1,767	3,912,524	54,196	3,966,720	—	3,966,720
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	333	73,690	—	64,923	138,947	10,559	149,506	△149,506	—
計	2,888,558	616,404	479,817	66,690	4,051,471	64,755	4,116,226	△149,506	3,966,720
セグメント利益又は 損失（△）	192,999	△1,269	1,679	△389	193,020	29,768	222,788	90	222,878

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額90千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	2,857,384	247,510	554,021	1,351	3,660,267	29,564	3,689,832	—	3,689,832
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	131	13,777	—	60,646	74,554	17,745	92,299	△92,299	—
計	2,857,515	261,287	554,021	61,997	3,734,822	47,309	3,782,131	△92,299	3,689,832
セグメント利益	174,102	7,391	10,379	1,032	192,906	13,044	205,950	90	206,040

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業、洗濯事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額90千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。